Ⅶ　多様な教育的支援を充実させるための教育環境整備を一層進める

基本施策	達成指標番号	達成指標	H20	H27実績	（H27）最終目標	進捗区分	担当所管
（18）特別支援教育の推進	77	指導員配置により、学習の取り組み状況や生活面が改善した児童生徒の割合	70%	83%	85%	○	養護教育センター
	78	学校訪問相談員が訪問した学校数 【H22年度新規】	70校（H22）	82校	依頼を受けた全学校に訪問	◎	養護教育センター
	79	教育相談を受けるまでの時間数 【H23年度新規】	20.5日（H23）	30.3日	14.0日	×	養護教育センター
	80	特別支援教育の研修講座の内容に対する受講者の満足度	97%	98%	97%	◎	養護教育センター
	81	長柄ハッピーキャンプに参加した後、学校や家庭でよい変容がみられる児童生徒の割合	50%	82%	80%	◎	養護教育センター
	82	高等特別支援学校の設置	―	施設・教育内容の充実・整備	施設・教育内容の充実・整備	◎	指導課
（19）不登校児童生徒への支援の充実	83	不登校児童のうち登校できるようになった小学生の割合	24.1%	29.3%	30%	○	指導課
	84	不登校生徒のうち登校できるようになった中学生の割合	29.2%	24.8%	35%	×	指導課
	85	適応指導教室での活動により学校復帰できた児童生徒の割合	62%	63%	75%	△	教育センター
	（再掲）	教育センターでのグループカウンセリング活動に参加した児童生徒のうち、学校復帰に向けた改善が図られ、教育相談指導教室に入級できた児童生徒の割合	（26の再掲）				
（20）国際化への対応	86	日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒で指導を受けている児童生徒の割合	98%	96%	同水準を維持	◎	指導課
（21）教育の機会均等を図るための支援の充実	（再掲）	預かり保育を実施する幼稚園の割合	（60の再掲）				
	87	入学説明会等において就学援助制度に関する保護者への説明を実施する学校	全校で実施	全校で実施	継続	◎	学事課
	88	不登校児童生徒がいる学校で「IT等を活用した学習」を申請している割合	―	29%	50%	△	教育センター

7年間を通じての考察等

[79]×「教育相談を受けるまでの時間数」について

来所相談については、相談者数の増加に伴い、相談を受けるまでの時間数が平成27年度は30.3日と増える傾向にある。緊急に対応が必要な相談を先に受け入れるなど対応を進め、来所相談の他にも、学校訪問相談、電話相談、医療相談、グループ活動などを通して教育相談の充実・推進を図っていく。

[80]◎「特別支援教育の研修講座の内容に対する受講者の満足度」について

通常学級担任対象の「発達障害児の基礎講座」を初級と中級の2講座に分けたことと、「ことばやきこえの指導」を基礎・ことば・きこえの3講座に分けたことで、より受講者のニーズに応じた専門的な内容の研修ができたため満足度が上がっている。

[81]◎「長柄ハッピーキャンプに参加した後、学校や家庭でよい変容がみられる児童生徒の割合」について

参加後の事後指導で、集団生活や日常生活での身辺処理の課題等について、繰り返し継続的に指導・支援したことで、子どもの成長につながった。

[86]◎「日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒で指導を受けている児童生徒の割合」について

平成27年度には、外国人児童指導教室を2か所設置するとともに、外国人児童生徒指導協力員を11人派遣し、102校（370人）の対象児童生徒を支援した。